



MICHITAKE!
未知を知って「満ちていく」あなたの世界

あなたの知らない世界を
届けたい。
未知を知ること、
あなたは満ちていく。
まだ知らない世界がきっとここに。
You can always take MICHITAKE!

2018.07
08

城戸 美和

地域保健学域 教育福祉学類 4年
(2018年2月記事)

国際ソーシャルワーカーへの道



課外活動では、ストリートチルドレンへの
フィーディングプログラムやリクリエーション、
家庭訪問やメディカルチェックなどを行いました

私は、文部科学省の「トビタテ! 留学Japan」という奨学金制度を利用し、国立フィリピン教育大学 (Philippine Normal University) に交換留学していました。フィリピン教育大学 (以下、PNU) はメインキャンパスがマニラの中心地にあり、総学生数は約6,000人。そんな中、留学生の数は私を含めてたった3人。(留学当時) しかし、大学で「アウェー」になることなど一度もありませんでした。授業ではいつもクラスメイト達が助けてくれたり、学内を一步あるけば、たくさんの友達が「Hi, Miwa!」と声をかけてくれたりしました。そんなホスピタリティに溢れていて、いつも優しく温かく迎え入れてくれるフィリピンの方々に助けをいただき、充実した8か月間を過ごすことができました。

—なぜトビタったか

日本だけでなく、海外でも活躍できる社会福祉士になりたいと思ったからです。そんな気持ちに火が付いたのは、教育福祉学類の海外スタディーツアーです。ハワイ大学での講義や施設を訪問したり、カンボジアで内戦から復興、開発への国際協力を学んだりして、日本の援助の優位性、社会福祉分野のニーズの高さを知りました。開発途上国ではあるフィリピンには家族やコミュニティのつながりという、社会福祉の原点ともいわれるものが今も残っています。フィリピン教育大学で社会福祉・教育の現状を学び把握し、その社会的・文化的背景を体験することで、必要とされる援助は何かを考え、飛び立ちました。

—PNUでの大学生活

私はPNUのメインキャンパスに在籍し、大学内にある寮に滞在していました。AM6:45から一眼目が始まるため、寮での生活は早寝早起きでとても健康的でした。フィリピンの大学生は普段からお酒を飲むことがなく、放課後は大学内の芝生でおしゃべりをしたり、鬼ごっこをしたり、ショッピングモールのフードコートで過ごします。誕生日パーティーや学内イベントがどんなに盛り上がりつつも、PM9:00には解散します。お酒が無くても常にハイテンションで、皆でふざけ

たり、急に真面目になって熱い話をしたり、「何をするか」よりも「誰とどんな時間を過ごすか」を大切にしているように思えました。授業は主にSocial scienceコースとEnglishコースの2つの学科で受講。2つの学科から、どの科目を受講するかはPNUの国際交流課のスタッフの方と相談して自分の興味のある内容から決めました。どの科目もクラスメイトは皆フィリピン人なので、母国語はタガログ語なのですが、私のために授業は全て英語で進めてくださりました。

中でも、一番興味深かったのが価値教育の授業「MULTICULTURAL STUDIES」です。「初等教育での多文化教育において、キリスト教とイスラム教の子ども達の交流イベントをどのように進めるか」という想定をして話し合ったことがあります。この話し合いを進める前に、教授であるProf. Rei Palcesから話されたことは「教育とは変化である」ということでした。『自分達自身も、自分がこれから受け持つ生徒にとっても「教育によって自身をどう変えるか」が重要であって「情報を受け取ること」は教育では無い。教育はライフコーチであり、自分の人生をよりよいものに变化させるものだ。』とProf. Rei Palcesは話されていました。



大阪府立大学から
「トビタテ! 留学Japan」に
たくさんの
合格者を排出!



佐々木 貴広

工学研究科
航空宇宙海洋系専攻 航空宇宙工学分野
博士後期課程3年 (2017年12月記事)

火星探査プロジェクトに参加!



NASA/JPL (Jet Propulsion Laboratory) とは、カリフォルニア州のパサデナに位置する宇宙探査のための人工衛星やロボットなどの研究開発を行うNASAの研究所です。最近では、木星探査衛星JUNOや土星探査衛星Cassiniなどの打ち上げ・運用、また2012年に火星に着陸した火星探査ローバー Curiosity でも注目を集めました。

—NASA/JPLでのインターンが決まるまで

米国スタンフォード大学やコロラド大学での1年間の留学も含め、大学院では人工衛星の制御に関する研究を行ってきました。具体的に、人工衛星の太陽パネルを太陽の方向に向けるための姿勢制御や大型の太陽パネルの振動を抑制するための振動制御、そして目的の軌道を維持するような軌道制御と多岐に渡って人工衛星の研究を行い、小型宇宙機システム研究センター (SSSRC) では人工衛星の設計開発や運用も行ってきました。また、京都大学や宇宙航空研究開発機構 (JAXA) で特別研究員として、これまでの人工衛星の研究からさらに裾野を広げ、宇宙ロボットの知能化や制御に関する研究にも従事しました。それらの経験が評価され、JPLでは、宇宙ロボットに関するプロジェクトでの採用となりました。

—NASA/JPLでの研究について

今回のインターンでは、火星を走るロボットの知能化に関する研究を行っています。火星では、地球と異なりGPSを用いることができないため、自分の位置を把握するのが容易ではありません。また、どのようなルートを通れば目的地に安全にたどり着くことができるか、カメラの画像をどのように用いれば賢く動くことができるのかということも課題となってきます。インターンでは、これまでの経験や時にはその場で必要な知識を取り入れつつ、課題に取り組んでいます。

—最後に

火星探査が盛り上がっている真っ只中に、世界最先端の研究所で研究する機会をいただけたことに感謝しつつ、しっかりと成果を上げ、プロジェクトに貢献し、恩返ししたいです。また、ここでの経験を今後の研究生活に活かし、今後ますますおもしろくなっていくであろう宇宙探査に、研究者として貢献していきたいです。





みちていく bot
@MichiTake55

8,888 ツイート 7,777 フォロー 10,000,000 フォロワー



Instagramで“つながり”

キャンペーン! @lunagare_insta

大学の魅力や日常をお届けしていくため、Instagramアカウント「@opu_insta」を開設しました。ただいま、ハッシュタグ「#opu_insta」をつけて素敵な風景等を投稿する“つながり”キャンペーンを開催中です! 辻学長が掲げる“つながり”をコンセプトに、学生や教職員、卒業生、地域のみさんと一緒になって府大の魅力を“つなげて”いきましょう!

@opu_insta instagram



ミチテイクを母校に贈ろう!

@michitake_gift

現代システム科学部 環境システム学類の森本優子さんが、母校の清教学園高等学校の後輩たちにレター付きでミチテイクを贈ってくれました! みなさんも、自分の母校に帰る機会があれば、府大生が作ったミチテイクをお土産に、後輩たちに府大のいまを伝えませんか? 詳しくは広報課(中百舌鳥キャンパスA11棟2F)まで!



ええとご紹介〜みんなにとどけ!

@todoko_eetoko

教職員と共に活動をしている学生団体の合同説明会「教職学コラボ団体展〜府大のええとご紹介!〜」を開催しました。私たちミチテイクを含め、さまざまな活動を支える総勢7団体が参加し、活動目的や意義、普段の様子などを4分間でアピールするプレゼン発表を行い、学内のポスターなどで団体名は目にしたことがあっても、具体的な活動内容はよくわからないといった学生や教職員へ向け、熱いメッセージが送られました。プレゼン発表後には各団体に個別相談会が催され、活動に興味を持った学生たちが熱心に話を聞いていました。



スタッフ募集 @Recruiter_Michitake

MICHITAKE!s新メンバー募集中!
この広報誌ミチテイクを作る学生広報サークル「michitake!」では、学生の編集メンバー「MICHITAKE!s」を毎年募集しています♪
☆府大の良さをもっとたくさんの人に広めたい!
☆広報誌づくりに興味がある!
☆こういう活動と一緒にやりたいと思った!
などなど感じられた方は、
Michitake.opu@gmail.com
までご連絡ください。MICHITAKEメンバー一同、お待ちしております!



「くすのき広場 NE x ST」に決定!

@kusunoki_next

学生会館前が新しく整備されたことに伴い、みんなが親しめる愛称の募集が行われました。たくさんの応募のなか選ばれた愛称は「くすのき広場 NE x ST」!
NE x STは、NEXTとNestを掛け合わせた造語です。愛称の詳しい説明は、大学のシンボルツリーにもなっている大きな楠の根元に銘板が設置されていますので、ぜひ読んでみてください。



「Michi Take(ミチテイク)」は、「学生だからこそ見える景色を伝えたい」、そして大学が持つ大きな価値である、「さまざまな知的な出会い、さまざまな未知(michi)へのきっかけを受験生のみなさんに届けた」と願う有志現役生と、府大広報課との連携によって創刊された、府大の魅力を学生視点でお届けする学生広報誌です。



あなたの知らない世界を届けたい。未知を知ることで、あなたは満ちていく。未だ知らない世界がきっとここに。 You can always take MICHITAKE!

ミチテイク・プラス MICHITAKE! PLUS



Webでも公開中!



@MichiTake_opu

大阪府立大学 学生広報誌 「Michi Take(ミチテイク)」第8号 2018年7月発行
編集協力: 株式会社フルハウス・イクゼ
【発行・お問い合わせ先】
公立大学法人大阪府立大学 理事長室広報課
〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1番1号
TEL. 072-254-9103 (ダイヤルイン)
Mail. koho@osakafu-u.ac.jp

リサイクル適性 (A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



府大でここだけ! エンジン周りの製作
マシンと工具で満たされたあの空間
エンジン周りの製作
鉄を切る姿がかっこいい
企業様と連携して知識と技術を学ぶ
ゼロからモノをつくる楽しさ

2016年度 5年制(5年)

OPUF

大阪府立大学学生フォーミュラ参戦プロジェクト
マシンの設計と製作
全日本学生フォーミュラ大会出場
2018/9/4-9/8 国際大会 ビジネスマナー
さまざまなことを勉強できるチャンス!

CAD 溶接
営業
電子回路
電装

もっと詳しく
MICHITAKE! PLUS

IRIS

アイリス I'm a Researcher In Science

子ども達に伝える IRISが学ぶ
女子だけの空間は新鮮
サイエンスコミュニケーター
女性研究者 他事業と連携する
科学の楽しさやおもしろさを広める

2017年度メンバー最多40名

大阪府立大学理系女子大学院生チーム

Keyword

もっと詳しく
MICHITAKE! PLUS

始まりは、地域猫活動
「府大に猫は何匹いるのだろう?」
キャンパス1周猫観察「ねこまわり」
参加者募集

大学猫を考えるシンポジウム
大学猫の解決法を議論し合う場
地域に住む人と猫が共存しながら暮らしていく

留年を繰り返した府大生は猫にされ、ひと☆ねこに管理されるらしい

ひと☆ねこ

小さな疑問は、時に世界を変えられる
「今の韓国があるのは貴方たちのおかげだ、ありがとう。」
韓国の30以上の大学でも

@HitonekoOpu

もっと詳しく
MICHITAKE! PLUS

輝いている人達を応援する私たちの瞬間
選手と一体になって輝けるあの瞬間
文化部を含め頑張っている人達を全員応援したい

応援団

白鷺祭 運動部
ホームカミングデー
チアリーダーのユニフォーム姿が
かわいいとほめられ
大阪マラソン

選手にとっても感謝されます
他大学の応援団
他の運動部の部員
活躍を生で見られる

交流

もっと詳しく
MICHITAKE! PLUS